

令和5年度 第2回

社会福祉法人長生共楽園介護・福祉サービス向上推進会議 会議録

日 時：令和5年10月11日（水）

14：00～15：00

場 所：特別養護老人ホーム園長室

参加者

苦情解決委員、理事長、苦情解決責任者、各苦情受付担当者

1、開 会

事務局より

2、理事長挨拶

3、事故及び苦情発生状況について

令和5年6月1日から令和5年8月31日における事故・苦情発生状況について、養護1件、特養1件、第二ひめはる3件、計5件の事故、また特養1件の苦情について報告を行った。（養護、第二ひめはるの苦情事例は無し）

苦情解決委員：養護事故（資料3頁）の「8 再発防止策」に記載されている「廃用症候群」とはどのような状況のことなのか。

苦情受付担当者：「廃用症候群」とは原因は様々だが、例えば骨折が原因で臥床時間が長くなり、四肢を動かないことでそれらの機能が低下し、最終的には寝たきりになってしまう、本来機能すべきものが、何かしらの原因でそれらを動かしたり、機能させないことで、状態が低下することである。

苦情解決責任者：「症候群」となっているため、その症状は様々である。

苦情解決委員：今回報告があった利用者は比較的高齢の方が多い。第二ひめはるの事例では101歳であり、驚いた。

苦情受付担当者：当該利用者は、下肢は骨折のため伸びきって動かすことが出来ないが、上半身の麻痺はない。音楽が好きで、好きな音楽に合わせて体を動かしたりしている。

苦情解決委員：どの利用者也高齢で、介護が必要な方多い中、細かく支援している様子が伺える。

苦情解決委員：高齢になると様々な機能が低下し、事故のリスクも高まる。致し方ない。大変な中、皆さん良くやっけていただいている。

次回開催候補日を令和6年2月7日（水）14時00分とする。会議開催近くに、各委員に開催案内文章を発送することとなる。